

こんにちは。去る3月21日(日)、国は一都三県の緊急事態宣言を解除しました。東京都では、医療提供体制は改善しているものの、一方で、新規陽性者数は増加に転じており、まだまだ厳しい状況にあります。今後のリバウンド、変異株等による感染急拡大を防ぐため、都全体で、イベント等では段階的な制限の緩和、不要不急の外出自粛徹底等、対策をとっていくことになりました。

本校でも、学習では、基本的に2学期に行ってきた方法に戻りますが、部活動では、安全を最優先して段階的に活動の制限を緩和します。活動の日数制限、時間制限があります。詳しくは、本日配付のプリントを保護者の方と一緒に確かめてください。今後の行事では、生徒が学年を超えて一堂に集まって行う活動を行う場合、「3密」にならない、「大声」を出さない、人との間隔をおおむね1mは確保するなどの対策をとります。勿論、これは行事以外の普段の生活の場面でも大切なことです。自分のため、周囲のため、家族のため、感染対策をしていきましょう。

去る16日(火)に卒業式を行いました。卒業生の答辞での在校生へのメッセージを紹介します。

「後輩のみなさん、これからは皆さんが新たな日野台高校を築いていく番です。これまで蓄えた力を存分に発揮して頑張ってください。応援しています。多くの素晴らしい人に支えられた、日野台高校での生活を、私は決して忘れません。」そして、卒業生に向けて「これから先、私たちはそれぞれ違った道に進みます。でも、私たちが、この日野台高校で、互いに競い、高め合い、一緒に笑ってきた仲間だということは、いつまでも変わりません。私は、そんな仲間に出会えたことを、心から誇りに思います。」いいメッセージですね。皆さんも、この言葉を心にとめてください。

さて、今年度は、コロナ禍の中にあっても本校では、学習では多くの課題をこなし、小テスト、定期考査、模擬試験ではそれぞれの結果を受け止め、出来なかった問題を解き直し、着実に実力を身に付けてきました。オンラインの授業動画も配信しましたが、オンラインもうまく活用して勉強していると思います。放課後の居残り勉強も、今年度は夜7時まで、多くの生徒が、自習室、図書館、廊下などでも懸命に学びました。卒業生からは、受験期に友人と一緒に勉強できたことが、とても支えになったと、聞きました。まさに受験は団体戦と言いますが、その通りの光景をたくさん目にしてきました。卒業生の進路実績も、特に国公立大学を中心に成果を伸ばしています。また、新1年生の入試倍率もこれまでにない高い倍率となりました。入試倍率が上がったのは、皆さんが様々なことで頑張っていることが評価されてのことだと思います。

大学入試で、今回から新たに始まった共通テストでは、国語・数学で記述で解答する問題の導入が見送られましたが、記述力は、これからの社会に必要な論理的思考力や表現力を高めるものであり、国公立大の二次試験や、大学に入ってから必要となる力です。大学の定期考査は、記述、論文形式がほとんどです。授業や定期考査、記述模試なども通して、書く力を高めていきましょう。

また、共通テストでは、英語外部検定の活用が見送られましたが、英語外部検定は、語学に必要な、読む、聞く、書く、話すの4技能を測るものであり、総合的な英語力や、技能別の力を測ることができ、入試に必要な力にもなります。おおいにチャレンジしてほしいと思います。

行事は、感染症により昨年3月以降多くが中止となりました。しかし、昨年9月には、例年の文化祭に代わり、オンライン学習発表会、パーティ菜を行いました。クラスや部活でアイデア一杯の動画を撮影し、編集して文字や音を入れ、インターネットに限定配信し、その企画力や技術力は先生たちを圧倒するものがありました。オンラインには、リアルではできない表現技法もあり、また、リアルで行うよりも多くの生徒、保護者、教職員が視聴できました。取組の過程では、もしかすると小さなぶつかり合いがあったかも知れませんが、皆で一丸となって創り上げ、絆を深めることができました。

部活では、コロナ禍での制限の中でも、日々の活動、練習試合、大会、文化祭などに取り組みました。大会で成果を上げることや、悔しさを味わうこともありました。一つのことに打ち込んだ経験は一生の財産です。大切にしてください。

今年度は、当然のようにやってくるはずの日常の大切さを知りました。当然のはずの日常が永遠に続くことはない。だからこそ、当然と感じている日々を大切に、一方で、急激な変化に対応する力を身に付けることが必要だと知りました。来年度も、また頑張っていきましょう。期待しています。